

## シニア世代の専門家集団の「寄り添うチカラ」とは

### ■ よろずシニアコンサルティングの 集団とは

事業承継、M&A、企業・製品ブランディング、人材育成、ITサポート、海外進出など、中小企業の経営課題は多岐にわたり、それぞれの専門人材を育てたり、社外に専門家を見つけたこと自体が大きな負担になっているのが実情ではないでしょうか。株式会社ANパートナーズ(東京都中央区・以下同社)は、経験豊かなシニア世代の各専門家がチームで支援する「よろずシニアコンサルティング」の提供を通じて、顧客企業の経営課題解決と、シニア各専門家の働きがいの両立を実現しているユニークな集団です。

### ■ M&Aを通じて事業承継に燃える 赤木さん

同社代表取締役の赤木雄さんは、大手化学メーカーで20年以上、海外進出やM&Aの実践経験を有し、60歳定年まで勤めあげ、独立起業を果たした専門家です。そんな赤木さんは「事業承継が課題の時代にあつて、後世に会社を残すM&Aの意義は非常に大きいものがあります。私はシニア世代の一人とし



松岡信也さん(左)、赤木雄さん(中央)、中山勝義さん(右)

て、自分の経験を世の中に還元することが生きがいであり、起業目的でもありません。ただ、課題は多分野にわたるので、同じ世代の専門家仲間でのチーム支援が私たちの最大の特徴です」と語ってくれました。

### ■ 人の感情を統合する内なるブラン ディング

あるエンジニアリング会社のM&Aサポートをした際、すべての作業が終わった時、M&Aとは一見無縁なブランディング専門家である盟友の中山勝義さんが、買収された側の従業員がネガティブな思いになっているのではないかとということに気づきました。赤木さんにとっては、目から鱗が落ちる思いでした。早速、両社従業員の「感情の統合」作業を始めました。中山さんは、長年の社内外のブランディング経験をいかして、買収側従業員による「歓迎メッセージビデオ」を制作し、「合併説明会」の冒頭に流したところ、空気が一変したそうです。中山さんは「M&Aに魂を込めるために、共に一緒に働きたいと思う、内なるブランディング作業」でお役に立てば本望です」と明るく続けてくれました。

### ■ 経験と専門性で広がるサポートの輪

この会社への支援は、M&Aだけにはとどまりませんでした。同じ専門家仲間

ある松岡信也さんは、大手IT企業勤務時代に50歳代で6年間かけて中小企業診断士の資格を取得され、独立後に中小企業への補助金申請サポートのプロとして活躍されている方です。松岡さんの豊富な経験が、このエンジニアリング会社の2種類の補助金の早期採択につながったそうです。くしくも同じシニア世代の寄り添うチーム支援が、M&Aを起点とした事業成長のベースを築いたといえるでしょう。次号ではこのエンジニアリング会社の社長に語ってもらいます。

### 池口武志(いけぐち・たけし)

一般社団法人定年後研究所 所長  
1963年生まれ。1986年日本生命保険相互会社入社。現在、株式会社星和ビジネスリンク取締役常務執行役員、キャリアコンサルタント(国家資格)としても活動中。著書として『定年NEXT』『人生の頂点は定年後』がある。

一般社団法人定年後研究所  
人生100年時代の中で、中高年社員のセカンドキャリアの充実に向けた調査活動を展開中。定年前後からの自走人生にチャレンジする会社員と、それをサポートする企業を応援。当記事へのご意見ご感想を、ポータルサイト <https://www.teinengo-lab.or.jp>「お問い合わせ」にお寄せください。

当ページのバックナンバーは、上記サイトをご覧ください。